

# 奇病(水俣)地帯を視察

## 柴田参議らの一行

水俣の奇病を現地視察する参議院議員社労委員柴田栄、阿久根登、

西岡ハルの三氏と本県出身の森中、矢島両参議、聖成厚生省環境衛生部長その他山口県衛生部長ら一行は九日午後三時半三角から船で百間港に上陸、中村市長や新日窒関係者らの出迎えを受けて新日窒工場に入り、西田工場長から奇病についての同工場独自の研究結果を聞いた。この説明会は秘密裡に行われ報道関係者も立入りを禁止された。

その後伊藤水俣保健所長の案内で船上から水俣湾、袋湾、湯迫、月の浦など奇病発生の現地をみて湯

之見着、二笠屋旅館で中村市長から奇病の現状を説明、さきに市が政府に陳情した①早急に総合研究態勢を整え原因の究明をはかってほしい②患者の栄養食給与分として一人年額三千円、総額百四十万円の子算化③漁民対策として魚礁六カ所、投石三カ所の設置の三項目を実施してもらいたいと要望、そのあと奇病の病状をおさめた幻

灯をみた。十日は患者の家庭を視察する予定。

◇柴田参議談 国会から派遣を命じられ実情調査にきたわけだが工場排水は水俣だけでなく全国的な問題だ。法的にもっと考えねばならぬと思う。水俣の場合は原因不明で熊大および新日窒で研究が続いているが現段階ではどちらが正しいなど全くいえない。そこで総合的に研究を進め双方とも虚心たん懐手をとって進むべきではないか。当面の

問題としては相当貧困家庭が多いので何とかして手を打たねばならぬ。帰ってから皆さんと相談の上研究を進めたい。

◇聖成厚生省環境衛生部長談 援助としては、世帯更生資金も貸付けている。今後困窮者ができれば援助の手を打たねばならぬ法の拡大適用は現段階では非常に難しい問題だ。今後総合研究の必要があるが、現地にその中心をもつてこねばならないだろう。一時的な援助でなく漁業問題など根本的に解決せねばどうにもならないだろう。そして二度とこんな問題が起らぬようせねばならない。